

エフゲニー・ザラフィアンツ (ピアノ)

私たちの身近にいる名匠

楽器全体が振動するような大音量と、目の覚めるような超絶テクニックを持ち合わせたピアニスト。ザラフィアンツのピアニズムの底流には、確かに強靱なロシアの伝統がある。だが、長い不遇の時代を過ごしたせいか、伝統を素直に受け継いだだけではなかった。真正面から作品に取り組みながらも、彼の中から立ち上がってくるのはまったく独自の世界。フレーズの扱い方や間合いの取り方も独特なのだが、それが決してひとりよがりにはならず、大きな説得力を持って聴き手に迫ってくる。1997年以降たびたび来日しているので、日本でもすっか

りお馴染み。コジマ録音からは15枚ものアルバムをリリースしているのだ。今回のリサイタルのメイン曲でもあるリストのソナタは、最新アルバムにも収録されており、彼の美質が遺憾なく発揮されていた。プログラムはオール・リストでも良かっただろうが、同時代を生きたシューマンとショパンを組み合わせたところに、彼のこだわりが感じられる。豊かな叙情性とクールな感性が同居する彼の世界を堪能したい。

文:堀江昭朗



★12月12日(月)・東京文化会館(小) ●発売中

☎ プロアルテムジケ03-3943-6677 <http://www.proarte.co.jp>